

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	産業振興課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2. 「二宮ブランド」の開発と活性化	
分野別方針	(1) 農林業振興の推進		実施計画事業	農業振興事業 (No.50)	
予算等事業名	農業振興事業				
目的	農用地の有効利用と中核農家の育成、各種生産団体及び協議会等の支援育成、又当町の農林産物を町民に周知し農林業の振興を図る。				
内容	農用地の有効利用と中核農家の育成、各種生産団体及び協議会等の支援育成、又当町の農林産物を町民に周知し農林業の振興を図る。				
根拠法令・条例等	・湘南地域農業再生協議会規約 ・二宮町農林水産まつり実行委員会規約 ・神奈川県環境保全型農業直接対策支援事業要綱		・農業金融制度資金利子補給要綱 ・二宮町園芸協会規約		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

## 総合評価

実績	関係団体、協議会等に対して助成するとともに、品評会等の開催により意欲向上を図った				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	認定農業者数				
前期(27年度)目標値	22人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:	平塚・大磯・二宮の1市2町で構成される「担い手協議会」にて各市町の動向を調整しながら認定農業者数の目標を設定しており、二宮町は毎年度1名の増を目標としている。				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	20人				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,850	1,787				
財源内訳	一般財源	1,850	1,301				
	国庫支出金						
	県支出金		486				
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町の農業振興のため農業者及び団体、協議会等の支援を行う。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町の農業振興のため今後も行政主体で事業を行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 高齢化、後継者不足、耕作放棄地など全国的な課題は同様であるが、改善に向けての取り組みが成されている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 国、県の補助の活用とともに、補助金の精査、活用の指導に努めている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 全国的な課題として、農業の衰退に歯止めを掛けるのは困難だが、国や県の事業活用および連携により、引き続き事業継続が必要である。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者の発掘、育成、支援</li> <li>・認定農業者、環境保全型農業直接対策支援対象者の増加</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	農業従事者の高齢化が進んでおり、支援育成が必要である。		
今後の方向性	新規就農者の育成・支援を強化する。		